資料２

琵琶湖博物館環境学習センター

１　令和7年度事業結果

環境学習センターは、環境保全活動につながる環境学習を推進する拠点として、各地域で多様な環境学習が展開されることを目指している。

そのため、環境学習に取り組む県民や自治会等の地域団体、NPO、学校、事業者、行政等、多様な主体による自主的な取組の充実やネットワークづくりを支援するため、以下(1)～(4)に係る事業を展開した。

(1) 環境学習を支えるネットワークづくり、人材の育成

環境学習に携わる多様な立場の人々の交流を促進し、ネットワークづくりを進めるとともに、および指導者のスキルアップを図るため、各種イベントを主催した。

開催日時	開催場所	イベント名	内容	参加者数
2025年10月7日(火)	ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場	2025 年度 環境保全活動者交流会	事業者による主体的な環境保全活動の充実を目的とし、「ヨシ」をテーマにダイハツ工業株式会社竜王工場の環境保全活動の事例紹介と専門家によるヨシに関する講演、工場内のビオトープでヨシ刈りの体験とヨシを利用したヒンメリづくりを実施	21 名 (15 社)
2025年10月18日(土)	琵琶湖博物館	環境･ほっと･カフェ「蛇籠ってなに？　知って、作って、考える。」	環境学習を実践する指導者育成を目的とし、企画展示を利用した蛇籠の歴史と文化に関する講義と、10分の１サイズの竹蛇籠編み体験を実施	5名
2026　年３月21日(土)	琵琶湖博物館	実践知と研究知をつなぐ「琵琶湖学習」	琵琶湖という共有のフィールドをめぐる実践知と研究知を通して、琵琶湖学習や環境活動をより魅力的に展開するため、連携の仕方や地域活性化について講義とワークショップを実施	15 名

（2）環境学習の企画サポート、コーディネート

自治会や子ども会などの地域団体、NPO、学校、企業、市町などから相談を受け、環境学習・活動に関する活動団体や講師の紹介、研修場所や企画内容等について情報提供を行った。

・環境学習に関する相談対応等

相談件数 267 件　　教材貸出件数 99 件

開催日時	開催場所	イベント名	内容	参加者数
2025 年8月 22 日（金）	琵琶湖博物館	博物館実習	学芸員資格取得を目指す国内大学生のために実施される博物館実習として、企画展「川を描く、川をつくる」をテーマにした環境学習プログラムの企画サポートを実施	14 名（国内 12 大学）

（3）次世代育成型環境学習の推進、啓発

子どもをはじめ、親子世代等の環境への関心が薄い層を対象に、地域の自然や暮らしを通して環境への理解を深め、自ら行動する力を育むため、地域の企業や団体と連携した体験型学習や講座を実施するとともに、環境保全への関心を高める普及啓発を行った。

開催日時	開催場所	イベント名	内容	参加者数
2025 年6月7日（土）・8日（日）	平和堂今津店	平和堂今津店で「びわこのちから」パネル展示	琵琶湖を含む滋賀県の魅力を紹介するパネルと移動博物館キットを展示。顕微鏡を設置し、訪れた方が琵琶湖のプランクトンを観察できるコーナーを設置	約 100 名
2025 年7月9日（水）～7月22日（火）（うち2日間ワークショップを実施））	近鉄百貨店草津店	「夏休み！自由研究応援展」	環境学習センターで貸し出しを行っている観察用キット等の展示。 観察用キットの双眼鏡を用いたワークショップを2日間開催	12 組 38 人

2025年10月13日(月・祝)	矢橋帰帆島大はらっぱ広場	「自然とふれあう遊びと学びのたいけんフェア」への出展	琵琶湖の魚と外来種について学ぶことができる「琵琶湖の魚釣りゲーム」ワークショップを実施	371名
2025年11月9日(日)	ウォーターステーション琵琶	「第 18 回 水辺の匠」への出展	滋賀県で採集された岩石の観察や石を割る体験を実施	15名

(4) 環境学習に関する情報収集と発信

環境保全に関するイベントや助成制度等の情報収集を行うとともに、ホームページやSNS 等を活用して分かりやすく発信し、県民の環境保全への関心と理解の向上を図り、環境学習活動の推進につなげた。

・環境学習情報のホームページ「エコロしーが」の運用

教えてくれる人登録者	学習プログラム	学べる場所	イベント掲載数
140人	179本	34か所	319件

・環境学習センター公式 SNS フォロワー数

X	Instagram	Facebook
516人	519人	126人

（5）その他

子どもを中心とした環境学習活動の成果発表や交流機会の創出のほか、県内企業による生物多様性保全に関する取組に関する展示等を実施し、環境保全活動への参加意欲の向上と県民への普及啓発を図った。

開催日時	開催場所	イベント名	内容	参加者数
2025 年9月1日(月)～11 月 14 日(金)	琵琶湖博物館 企画展示室	こどもエコクラブ事業	こどもエコクラブに登録しているクラブの活動成果をまとめた壁新聞・絵日記の展示および表彰を実施	壁新聞・絵日記応募数: 132 作品
2025 年 12 月 7 日(日)	琵琶湖博物館 ホール・企画展示室	淡海こどもエコクラブ活動交流会	絵日記・壁新聞コンクールの壁新聞の発表および表彰(壁新聞:大賞 1 件、奨励賞 3 件 絵日記:優秀作品賞 3 件)	82 人・ 5団体
2026 年2月3日(火)～3月1日(日)	琵琶湖博物館 アトリウム	トピック展示「トンボ 100 大作戦～滋賀のトンボを救え～」	「生物多様性びわ湖ネットワーク(BBN)の生物保全活動成果発表展示	-

2 令和8年度事業（予定）

環境学習センターでは、令和8年度は昨年度の課題解決に取り組みつつ、次の(1)～(4)に係る事業を実施する。

（1）環境学習を支えるネットワークづくり、人材の育成

地域団体と連携した企画を開催し、地域における環境学習の機会創出や環境学習に携わる団体間および団体と地域住民との間のネットワークづくりを図る。

開催日時	開催場所	イベント名	内容	参加者数
8 月 8 日(土)、 9 日(日)	アルプラザ長浜	びわ湖わくわくミュージアム	湖北地域での情報発信に注力し、湖北地域で活動している各種団体と連携出展を実施。	522 人

【地域との連携の概要】

●連携団体数:4団体

①NPO 法人近江淡水生物研究所　　②早崎内湖再生保全協議会

③山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会　④長浜市役所環境政策課

（2）環境学習の企画サポート、コーディネート

環境学習センターへの電話、メール等での相談対応のほか、県民や地域団体への観察用キットの貸出を実施する。今年度はイベントでの紹介や情報発信により、貸出数が増加傾向にある。

●相談件数　124 件（2026 年 4 月～7 月末）

●観察用キット貸出　90 件（2026 年 4 月～7 月末）　※令和 7 年度は年間で 99 件

（3）次世代育成型環境学習の推進、啓発

地域の子ども向けイベントを開催し、環境学習の機会を創出するとともに、ステップアップとして観察用キットの貸出を案内することで、家庭学習の推進を図る。

開催日時	開催場所	イベント名	内容	参加者数
6 月 27 日（土）・28 日（日）	ビバシティ彦根	びわ湖の日 親子で楽しむ環境イベント	琵琶湖の小さな生きものを顕微鏡で観察できるブースを出展	552 人
7月8日（水）～7月21日（火）（うち3日間ワークショップ実施）	近鉄百貨店草津店	びわ湖わくわくたんけん　びわ湖の小さないきものを観察しよう	観察用キットの顕微鏡を用いたワークショップおよび関連展示を実施	302 名
11　月 8 日（日）予定	ウォーターステーション琵琶	第19回水辺の匠	モノづくり体験や自然・環境学習などのイベントにブース出展予定	-
9月1日（火）～11 月 17 日（火）予定	県内	こどもエコクラブ事業「絵日記・壁新聞コンクール」	県内で環境学習活動に取り組む個人および団体（こどもエコクラブ等）を対象とし、各自の活動を壁新聞や絵日記にまとめた作品を募集	-
12　月 6 日（日）予定	琵琶湖博物館	淡海こどもエコクラブ活動交流会	県内で環境学習活動に取り組んだ個人および団体（こどもエコクラブ等）の活動成果をまとめた壁新聞・絵日記の展示および表彰	-

※別途、環境学習活動における課題解決に向けて、活動実践者とともに今後の活動の発展につながる講座を開催する予定。

（4）環境学習に関する情報収集と発信

ウェブサイトおよびSNSでの情報発信を行う。昨年度よりもSNSでの発信方法、発信数を増やすとともに、各種イベントにおいてSNSのフォローを誘導し、日常生活において環境学習情報に触れる機会創出に取り組んでいく。

・環境学習情報のホームページ「エコロしーが」の運用

	教えてくれる人登録者	学習プログラム	学べる場所
令和８年度７月末時点	**148人**	**186本**	**34か所**
令和７年度３月末時点	140人	179本	34か所
増減数	+8	+7	0

・環境学習センター公式SNSフォロワー数

	X	Instagram	Facebook
令和８年度７月末時点	**534人**	**638人**	**132人**
令和７年度３月末時点	516人	519人	126人
増減数	+18	+119	+6

・SNS投稿数

	X	Instagram	Facebook
令和８年４月～７月末	**28件**	**28件**	**28**
令和７年度	68件	68件	68

－以上－